

「周波数資源開発シンポジウム2019」開催のお知らせ

一般社団法人電波産業会（ARIB）は、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）との共催により「周波数資源開発シンポジウム2019－周波数利用の可能性を拓げる次世代ワイヤレス技術－」を開催します。

2019年中に国内で一部サービス開始が予定されている第5世代移動通信システム（5G）の登場を契機に、あらゆるシーンでワイヤレス技術が利用される時代が訪れつつあります。2020年代においては、5Gの利活用に留まらず更に高い周波数や新しい無線の利活用技術の開発が進むことで様々な新サービスの登場が期待されます。具体的には、未開拓の周波数帯域であるテラヘルツ波やミリ波の応用技術、マイクロ波空間伝送によるワイヤレス電力伝送技術、5Gを支える次世代衛星通信技術などが、次世代のワイヤレス技術として注目を集めています。

本シンポジウムでは、新たな電波の利活用により周波数利用の可能性を拓げる次世代ワイヤレス技術に焦点を当て、技術や標準化動向、アプリケーション、政策等について、産学官の専門家による講演を行います。研究者や専門家のみならず、多くの方々のご参加を心からお待ち申し上げます。

記

- 1 日 時： 2019年7月5日（金）13時から
- 2 会 場： 明治記念館 蓬莱の間（東京都港区元赤坂2-2-23）
<https://www.meijikinenkan.gr.jp/>
- 3 主 催： 一般社団法人電波産業会
国立研究開発法人情報通信研究機構
後 援： 総 務 省
協 賛： 情報通信月間推進協議会
- 4 テ ー マ： 「周波数利用の可能性を拓げる次世代ワイヤレス技術」
- 5 定 員： 250名
- 6 参 加 費： 無料
- 7 申込方法： 当会ホームページよりお申し込み下さい。
<https://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>
- 8 問合せ先： 一般社団法人電波産業会 周波数資源グループ ^{すみの}角埜
(TEL：03-5510-8593 e-mail：k-sumino@arib.or.jp)

情報通信月間参加行事
「周波数資源開発シンポジウム 2019」
 ― 周波数利用の可能性を拓げる次世代ワイヤレス技術 ―

時間	次第	講師（敬称略）
12:30	開場	
13:00	開会	
13:00～ 13:05	開会挨拶	国立研究開発法人情報通信研究機構 理事 門脇 直人
13:05～ 13:10	来賓挨拶	総務省 総合通信基盤局 電波部長 田原 康生
13:10～ 13:50	基調講演 「最近の電波政策の動向について」	総務省 総合通信基盤局 電波政策課長 布施田 英生
13:50～ 14:40	講演1 「未開領域への挑戦:テラヘルツ波応用技術」	国立研究開発法人情報通信研究機構 未来 ICT 研究所長、 ARIB テラヘルツ調査研究会 委員長 寶 迫 巖
14:40～ 15:30	講演2 「ミリ波通信機器の現状とポテンシャル:特別な ものから幅広いインフラへと変わりつつあるミリ 波通信」	IHS マークイット シニアアナリスト/ジャパンリサーチ 大庭 光恵
15:30～ 15:50	(休憩)	
15:50～ 16:40	講演3 「マイクロ波空間伝送でワイヤレス電力伝送は 新たなフェーズへ」	京都大学 生存圏研究所 教授、 ワイヤレス電力伝送実用化コンソーシアム 代表 篠原 真毅
16:40～ 17:30	講演4 「衛星コンステレーションや衛星5G 技術の動向 と次世代衛星通信技術」	国立研究開発法人情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク総合研究センター 宇宙通信研究室長 豊嶋 守生
17:30～ 17:35	閉会挨拶	一般社団法人電波産業会 専務理事 松井 房樹
17:35	閉会	

プログラムは予告なく変更される場合があります。

情報通信月間参加行事 「周波数資源開発シンポジウム 2019」 会場案内図

(2019年7月5日(金) 13:00開会)

明治記念館案内図



電車：JR（中央・総武線）信濃町駅 下車徒歩3分

地下鉄（銀座線・半蔵門線・大江戸線）青山一丁目駅 下車（2番出口）徒歩6分

地下鉄（大江戸線）国立競技場駅 下車（A1出口）徒歩6分

バス：都バス「権田原・明治記念館前」下車徒歩1分

（品97）品川車庫前～新宿駅西口

車：首都高速4号線（外苑出口）

* 160台まで収容できる専用駐車場がございます